

矢部清流学園

学校だより 8号



善遊善学

学校教育目標 **あるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～**

重点目標 **自ら課題に向き合い、自分の思いや考えをしっかりと考える子どもの育成**

令和5年9月26日 文責 古川 志乃

読書の秋! スポーツの秋!

お彼岸とはいうものの残暑厳しく、まだまだエアコン稼働中です。しかし、どんなに暑くとも、お彼岸の時期になると開花する彼岸花。棚田と彼岸花の美しい光景に、思わず車を止め、カメラのシャッターを切りたくなります。

さて、10月15日(日)の体育祭に向けて練習がスタートしました。今年も、子ども達の活気ある競技・演技が矢部村の方々に元気を与えることでしょう。どうぞ楽しみにしてください。



家庭教育学級・授業参観 9月19日(火)

【講演】「子どもの心を育てる読書や読み聞かせ」

九州大谷短期大学 助教授 梅野 智美 先生

PTA活動の一貫として、取り組んでいるノーメディアデー(毎月1日)。本年度は、テレビやスマホ等を見ないだけでなく、「親子で読書」を推進しています。そこで、どのように読書を子どもたちとともに楽しんでいくか、読み聞かせの大切さについて話していただきました。講演会の前(5校時)には、善遊科児童には梅野先生より読み聞かせを、善学科は授業参観を行いました。ご多用な中、ご参加ありがとうございました。また、講演会の運営を携わっていただきましたPTA役員のみなさま、ご協力ありがとうございました。

【保護者感想】

子どもが高学年になったので、読み聞かせはどうか?と悩んでいました。しかし、「年齢に関係なく読み聞かせをしましょう。」というお話があり、読み聞かせを通して子どもと触れ合う時間を過ごしていきたいと思いました。紹介された絵本を今度子どもと一緒に読みたいと思いました。



おおそま自然塾 (3~6年生) 9月8日(金)

本年度のおおそま自然塾では、矢部の生活を支える川について学びました。本校の校章にも描かれている3つの川(矢部川、縦鶴川、御側川)が矢部川になり、有明海に注いでいるのですが、その矢部川の源流と中流を比較しながら調査をしました。まずは、源流箇所の一つ「ハツ滝」を訪れ、マイナスイオンをいっぱい浴びながら、透き通り、キーンと冷たい水に触れて子ども達も大感激でした。それから、矢部川沿いをスクールバスで移動しながら川幅がどんどん広く、流れがゆっくりになっていく様子を観察しました。最後は、船小屋を訪れ、川の温度を測ったり、生息する生き物や石ころを観察したりしながら上流との違い(子ども達の気づき)を発表していました。

【ご指導いただいたおおそま自然塾の方々】※敬称略

おおそま自然塾長	山口 久幸	矢部公民館長	江田 伸一郎
愛樹館理事長	山中 洋一	矢部公民館	山下 京子
愛樹館副理事長	栗原 浩暢	矢部支所総務課	川島 正幸



【子どもの感想から】

- ・上流は、木にかこまれていて、中流は、日が当たって水がぬるかった。(3年 K.Uさん)
- ・ハつだきの水はきれいでも冷たくて、温度は15度でした。船小屋は、少しきたなくて、温度は28度でした。(3年 K.Mさん)
- ・源流と船小屋では生物の数に差がありました。源流は水がどう明で、とてもきれいだったけど、あまり生物はいませんでした。水中生物は水の温度によってちがうのだと思いました。(4年 N.Aさん)
- ・ハつだきと船小屋の川の水のきれいさを比べた。源流はどう明できれいだったが、船小屋はきれいだったが、こけのようなものが入っていた。(5年 K.Mさん)
- ・今回の学習では、班の人と協力してできた。来年は6年生になるので、下級生のめんどうを見ながら調べたい。(5年 N.Tさん)
- ・源流は水がきれいでも冷たかったです。たきの周りは寒くて、がけのようになっていました。流れが速くて、あまり生き物がいませんでした。それに比べて船小屋は、水中に「も」が浮いていました。川の周りは開けていて川はばが広がったので、水の流れてしん食されているのだと思いました。(6年 I.Nさん)

6年生 修学旅行（長崎市） 9月14日（木）～15日（金）

9月14日（木）～15日（金）、6年生は長崎へ修学旅行に行ってきました。開通した西九州新幹線（武雄から長崎）を利用しての修学旅行でしたが、出発日の朝、長崎に線状降水帯が発生し、交通機関がストップするのではないかと心配でたまりませんでした。しかし、計画的かつ入念に準備をしてきた子ども達の思いが天に通じて、遅延することもなく、予定通りに実施することができました。【訪問先：平和公園、浦上天主堂、如己堂、原爆資料館（語り部さんの話）、班別自由行動では新地中華街、出島、眼鏡橋、グラバー園など】



- 【子どもの感想から】 ※一部抜粋（実際の文章はかなり長いので）
- ・ぼくは力がある・ない、強い・弱いなど関係ないと思います。本当に強い人は、人のことを考えて行動できる人だと思います。「弱肉強食」という四字熟語がありますが、「平和」とは強い・弱いに関係なく、みんなが安心安全に、みんな協力して、快い生活することだと思います。みんな助け合って生きていくことが大切で、一つ一つ、そして一分一分を大切に組み立てていけたらいいと思います。（K.Sさん）
 - ・新地中華街で、昼食をとりました。みんな好きな物を頼んで、計算して、お金を出し合いました。おいしかったです。ホテルでも「みんな、ちょっとうるさいよ！」などと声をかけあって（注意し合いながら）過ごすことができました。みんなで気に合って、行動できました、時間前に集合場所に到着することができてよかったです。（K.Yさん）
 - ・自由行動では時間を逆算して（見通しをもって）、班の人と一緒に行動できました。長崎の方はとても優しく、電車の中で話しかけていただいた方に道を教えてもらうだけでなく、親切にその場所まで案内してもらい、とてもうれしかったです。（O.Tさん）

お礼

感謝

8月30日、今年度も栗原昭典さんより、立派なブドウ（ピオーネ）をいただきました。その日の給食に提供し、子ども達は大喜びでブドウをほおばっていました。心から感謝申し上げます。

また、栗原昭典さんには、今、7～9年生の剣道（体育における武道指導）の授業でもゲストティーチャーとしてご指導いただいています。初心者の子も達も、全9回のご指導でみるみる上達しています。木龍いっばいに響く「め～ん!」「こて～!」の声、それに、練習始めと終わりの黙想と礼の緊張感が精神面での学びにもつながっています。

国際交流事業 8年生 英語 9月22日（金）

夏休み前、8年生が英語の授業で、日本に住む外国の方々にも矢部村に来てほしいと「矢部村を英語で紹介」を国際交流センター（アクロス福岡内）に送付していました。すると、九州大学に通う留学生の方々はそのメッセージを読まれ、「是非、矢部村に来てほしい！子ども達と交流したい！」との連絡があり、実現した今回の交流事業。来校してくれた5名の留学生（中国・タイ・カンボジア出身）を矢部の名所まで実際にお連れし、英語で案内してまわりました。

ちょうどこの日、矢部取材に来られていたNHKの方々にも撮影していただき、子ども達の緊張はマックスのようでしたが、身振り手振りを加えながら、一生懸命に矢部のよさを伝えようとしていた姿が微笑ましかったです。留学生が帰るときは、ハグやグータッチで別れを惜しみ、満面の笑みで「楽しかった～!」と・・・意思疎通できたことに喜びを感じていたようです。放課後英会話教室で砂川先生に名付けていただいたイングリッシュネームを自己紹介で伝え（Please call me "〇〇".）、日頃の取組が活かされていることも嬉しかったです。



【放送日】 「ロクいち!福岡」NHK総合 午後6:10～7:00 の番組内での特集9月27日（水）、28日（木）、29日（金）に矢部村のことが紹介されるとのこと。矢部清流学園の内容については、28日（木）に放送されるそうです。乞うご期待!

秋 新学期を迎えるにあたって・・・

八女市の公立小・中・義務教育学校は、2学期制をとっているため、10月6日（金）が前期の終業式となります。その日の午後、終業式を実施し、学級活動においては、学級目標や個人目標に対しての取組がどうだったかを振り返ります。一人一人、自分が成長したところを実感するとともに、改善すべき課題についても明らかにし、後期の活動につなげていってほしいと願います。

PTA 理事会でもお話ししましたが、後期課程のほとんどの生徒が、宿題等の課題の提出が遅れ、指導支援が必要な状況です。家庭での生活はいかがでしょう？

高校生さらには社会人になれば、全て自主性に任せられ、時間を守れなかったり、提出期限を守れなかったりしたら、自分自身の信頼を大きく失ってしまいます。「凡事徹底」自分がやるべきあたりまえのことに一人一人が自覚をもって、取り組んでほしいと願っています。

本年度の重点目標「まずは自分で! しっかり! 粘り強く!」を、常に心に描いて!